

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターさくら草すみれ		
○保護者評価実施期間	令和6年10月11日		令和6年10月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和6年10月9日		令和6年10月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員の資質向上のための研修について、多くの職員が参加できている。	・時短で勤務している職員なども含め、できるだけ多くの職員が参加できるよう、開始時間を早めに設定し、実施している。	・職員から、それぞれに興味のある題材(研修のテーマ)を出してもらう。 ・研修以外にも、福祉サービスの動向、医療に関する話題、関連する法律の改正など、支援に関する情報を、方法を問わず(口頭での伝達、紙面の回覧などで)共有していく。
2	・活動プログラムについて、固定化しないようにしたり、児童に合った内容を提供できるよう、職員間で調整、工夫ができています。	・取組みを積み重ねることも大切なポイントになるため、ねらいをもって同じ遊びを行うこともある。 ・内容を検討したうえで新しいアイデアも取り入れて、児童の成長に合った遊びが提供できるように工夫している。	・交流研修など他施設での研修に参加することで、新しい活動につながる題材やヒントを得て、活動をより充実させていく。
3	・事前の打ち合わせや振り返りが、チームで連携して実施できている。	・毎朝の打ち合わせの際に、その日の職員配置を全員で確認している。登園人数が多いと予想される日には、前日までに職員配置を考えて体制を整えておくように工夫し、当日落ち着いて対応できるようにしている。 ・振り返りについては、業務の関係で当日にできない時は、別日に行っている。また、記録ノートを生かして、その日不在だった職員にも情報を共有できるようにしている。	・打ち合わせや振り返りの際に個々の発言の機会を増やし(必ず一人1回は発言できるように機会を設けるなど)、情報の共有や新たな気づきを得る機会にするとともに、風通しのよい職場づくりにつなげていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域とのつながりを持つことや交流保育の実施が、積極的にはできていない。	・療育の入口であるという特性上、地域とのつながりを持つことについては、これまで積極的に行うことができていなかった。交流保育については、コロナ禍で近隣の保育園との交流を控えていたため、一昨年までできていなかった。昨年は保育園の園庭開放への参加に留まった。	・今年度、地域公民館の文化祭にアート作品を出展させていただいた。これをきっかけに、今後も地域のイベントに参加し、施設について地域の方々に知っていただく機会を作り、地域とのつながりを少しずつ増やしていく。 ・交流保育については12月から直接的な交流の形で実施予定。在籍児童の様子に合わせて内容を検討している。
2	・防犯について、マニュアルは策定されているが、発生を想定した訓練は実施できていない。	・医療機関との併設で、外部の方が自由に出入りできる環境になっている。	・防犯に関する研修を今年度中に計画、実施する。 ・療育センターとして、1階事務所に防犯対策の用具(刺叉)を常備しているが、2階のすみれの入口にも設置する。
3	・きょうだい同士で交流できる機会を設けることは、積極的にはできていない。	・きょうだいの来園についてはコロナ禍後に少しずつ再開していたが、状況の様子見もあり、コロナ禍以前のようにきょうだい同士で交流をするという内容では、まだ実施できていない。	・感染症などの状況も見ながら、きょうだい参加できる行事を増やしたり、きょうだい長期休み(夏休み、冬休み)の期間中来園し、きょうだい同士が交流できる時間も設けることを計画していく。

事業所名 療育センターさくら草すみれ

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 28 令和6年10月22日 回収数 18

	チェック項目					ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2			・職員配置につきまして、ご心配をおかけして申し訳ございませんでした。配置数は国の基準を満たしております。不在職員が多い場合は、前もって職員間で保育体制の確認を行い、スムーズに対応できるよう努めております。ご不安な点等ございましたら、ご意見箱でも結構ですので、どうぞお知らせください。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1			・STや心理の専門職の方の個別の介入があると、またありがたいです。 ・ご意見ありがとうございます。市の言語聴覚士や心理職の先生につきましては、支援計画作成時期や保護者勉強会の時期にお子さんの様子を見に来られ、アドバイスをくださっています。ご相談等がございましたら、担任理由になりますが、お尋ねさせていただきますので、お申し出ください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1			・毎日家では経験できない活動を入れていただき、ありがたいです。 ・ご意見ありがとうございます。同じ活動を行う際はアレンジを加えたり、新しい遊び方を取り入れる等工夫して、お子さんに楽しんでもらえるよう努めて参ります。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	3	4	7	4	・たまに児童館や公民館に(個人的に)遊びに行きます。 ・感染症のリスクを考えると、無理に行わなくてもいいと思います。 ・ご意見ありがとうございます。12月から年中長児さんを対象に、隣接の田島保育園の園児さんとの交流保育を行うこととなりました。全3回の予定です。お互いに刺激を受け合いながら、楽しめるような内容にして参ります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		2	2		・ペアレントトレーニング等の情報提供が十分でなく、申し訳ございませんでした。療育センターさくら草のペアレントトレーニングは通園の方以外を対象とした事業となっております。園としては引き続き、保護者向け勉強会を開催していく他、外部の研修等の案内を掲示等にて行わせていただきますので、どうぞご活用ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18					・普段から連絡帳、送迎時に様子を沢山伝えていただき、聞くのが楽しみです。 ・ご意見ありがとうございます。職員も園でのお子さんのエピソードを保護者の方と共有させていただけることを、とてもありがたく思っております。お子さんの成長の様子や可愛らしい一面等、これからもお伝えさせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1			・面談や助言等の機会が十分でなく、申し訳ありませんでした。面談等の時間はできるだけ速やかに設けさせていただきます。保護者の皆様のお気持ちに寄り添えるよう今後も努めて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					・いつも家の様子や悩みについても傾聴してくださり心強いです。 ・ご意見ありがとうございます。保護者の方がいろいろなことをお聞かせくださることは、私たち職員にとってありがたいことだと感じています。保護者の皆様が少しでも話しやすくなるよう、努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	3	3		・ご家族、きょうだいへの支援が十分でなく、申し訳ありませんでした。きょうだいにつきましては、今年度は日にちを限定して同行していただく機会を設けましたが、次年度からは行事参加も含め、機会を増やしていく予定です。また、12月のお楽しみ会につきましては、大人のご家族2名までの参加とさせていただきます。お子さんの成長した姿をぜひ見いらしてください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1			3	・情報発信が十分ではなく、ご不便をおかけしました。2月からX(エックス)にてカリキュラムの掲載や、活動の紹介等を始めております。また、「自己評価」の結果につきましては、さいたま市社会福祉事業団ホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14		1	1		・緊急時等のマニュアル周知が不足しており、申し訳ございませんでした。避難訓練は通園では月1回、フォローグループでは年2回実施しています。防犯対策につきましては、今年度職員向けに研修を行う予定です。これからは、安全にお子さんをお預かりできるよう、努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				4	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				1	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				2	

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15		1	・先生方皆さんにしっかり甘えられていて本人の安心度が高いと感じます。	・ご意見ありがとうございます。お子さんが安心して気持ちを出してくれるようになり、私たち職員もとても嬉しいです。毎日元気に送り出していただき、ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15		1	・毎日園に行くのが楽しみで、着くと嬉しそうです。	・ご意見ありがとうございます。すみれに着くと笑顔を見せてくれるお子さんたち。お友達や職員との過ごすことを楽しみに来ていることが伝わり、温かい気持ちになります。お子さんが楽しい1日を過ごせるよう、これからも努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			・ありがとうございます。(2件) ・いつも細かく丁寧な支援に感謝しております。	・ご意見ありがとうございます。すみれは親子通園の機会が多く、保護者の皆様にご負担をおかけしております。保護者の皆様が明るく一緒に活動を楽しんでくださることで、お子さんは安心感を持って過ごしてくれます。職員も支援の質の向上を目指して研鑽して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育センターさくら草 すみれ		公表日		令和7年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	・児童の人数に合わせて室内の大人の人数を減らし、圧迫感を感じないようにしている。	・多くの物品を使用する活動によって狭さ、過ごしづらさを感じることもある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	3	・朝のミーティングで職員体制を確認、人手が足りないクラスはヘルプを要請し、不足がないようにしている。	・児童の登園人数が多かったり職員の休みが多かったりすると、職員の人数が足りないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	3	・長い廊下で段差がなく、移動しやすい環境にしている。また、クラス名の動物の装飾を入口に貼ったり、ドアに鈴を付け、園に来たことを児童自身が理解しやすくなっている。	・床のマット等、適切でない所もあると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0		・トイレが個室でなく、お互いに見えやすいことが問題だが、仕切りなどで工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2	・その時々によって、使用していない教室を利用している。	・保健室のような場所がない。医ケア児も在籍しているため、あるとよいと思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・支援計画の面談や利用者アンケートを実施しており、その時いただいた意見を検討している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・園児の降園後に反省会を実施している。	・定期的な会議等はあるが、業務について話す機会は少ないと思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	4		・第三者評価の実施がこれまでなかった。令和6年度中に実施する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	・臨時職員の方にも研修に参加していただいている。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	2		・支援プログラムについては現在作成中。年度内に作成し、公表する予定となっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		・地域支援については必須項目でないため、立てていない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの調整、工夫を職員間で行っている。 ・児童の成長に合わせて活動プログラムを工夫している。 ・繰り返す活動についてはアレンジを加えて実施している。 ・積み重ねることも大切なため、あえて同じプログラムを入れることがある。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画内に個別の記載はないが、園児の状態に応じた個別的配慮を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・よく話し合い、助け合い、チームワークを生かして支援を行っていると思う。 ・登園人数が多いと予測される日は、前日までに職員配置を考えて確認している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等で反省会が行えない場合もある。その際は、別日に併せて行うようにしている。 ・児童一人ひとりよく把握している。また、職員間で情報共有もできている。 	・業務上難しい日もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1		・モニタリングは半年に一度のペースである。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供書等を通じて連携を図っている。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・電話連絡等で情報共有を行っている。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	12	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	2	<ul style="list-style-type: none"> ・桜区の会議に参加している。 	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			対象外	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から再開できており、今年度も実施する予定。児童にとってよい環境であると思う。 	・コロナを機に減ってしまい、交流する機会は少ないと感じる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会という形で実施している。 		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・定期的な面談や懇談会の際に話を伺うほか、親子通園時等、随時相談を受け、必要な場合は専門職につなぐ等の対応も行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2	・行事への参加を通して保護者同士の交流の場を設けている。	・きょうだい同士の交流を目的とする機会はコロナ禍後、設けていないため、今後計画できるとよいと思う。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14	0	・X（旧ツイッター）にて毎月クラス活動のカリキュラムを発信している。なかなか登園ができずカリキュラムの配布が難しい方は、SNSで内容を確認して登園してくださっている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	・個人情報の取扱いについては日々周知を行い、注意を払っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3	・招待することは難しさを感じるが、作品展で地域の文化祭に参加することが決まり、園について地域の方に知っていただく機会になると思われる。	・地域との交流はできていないのが現状だが、今後多くの方に知っていただく機会があるとよいと思う。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	5		・各種マニュアルの作成、訓練は概ねできていると思うが、防犯については周知や訓練ができていないと感じる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	1	・保護者のご了承のもと、医師、看護師に情報をいただき、園児の状況把握を行っている。必要に応じて研修の機会を作っていただくこともある。 ・不安な点や分からない点は園看護師に確認し、対応時のシミュレーションを行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0	・保護者のご了承のもと、医師、看護師に情報をいただき、園児の状況把握を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	・毎月の避難訓練のほか、年2回実施する療育センターさくら草全体の総合防災訓練、年1回の引渡し訓練について周知し、実施の際には保護者に参加のご協力をいただいている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・細かい点でも反省事項の共有を行い、今後につなげるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0		